



新型コロナウイルス感染症拡大後の
こどもたちの健康状況

2021年「学校健診後治療調査」

報告書

長崎県保険医協会

新型コロナウイルス感染症拡大後のこどもたちの健康状況 2021年「学校健診後治療調査」結果

長崎県保険医協会

【実施期間】 2021年2月10日～3月15日

【対象期間】 2020年度

【対 象】 長崎県内の小・中・高校、特別支援学校617校。

【方 法】 アンケート用紙（A4版1枚）を郵送し、FAXまたは郵送で返信。

【回 答 数】 257校（小学校130校、中学校82校、高校33校、特別支援学校12校）。

【回 答 率】 41.7%。

【対象数及び回答数・回答率】

	対象数	回答数	回答率		対象数	回答数	回答率
小学校	327	130	39.8%	公立小学校	321	126	39.3%
				私立小学校	6	4	66.7%
中学校	185	82	44.3%	公立中学校	173	77	44.5%
				私立中学校	12	5	41.7%
高校	80	33	41.3%	公立高校	57	27	47.4%
				私立高校	23	6	26.1%
特別支援学校	25	12	48.0%				
全体の合計	617	257	41.7%				

参考) 2018年調査結果

【実施期間】 2018年9月14日～9月30日

【対象期間】 2017年度

【対 象】 長崎県内の小・中・高校、特別支援学校622校。

【方 法】 アンケート用紙（A4版1枚）を郵送し、FAXまたは郵送で返信。

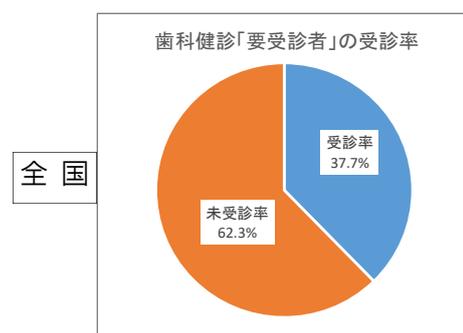
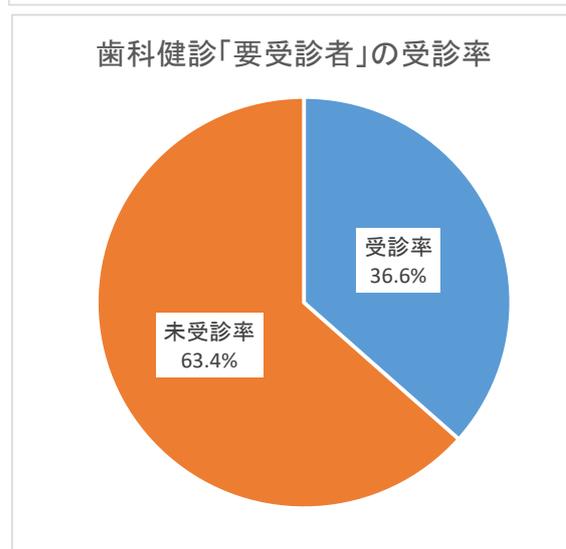
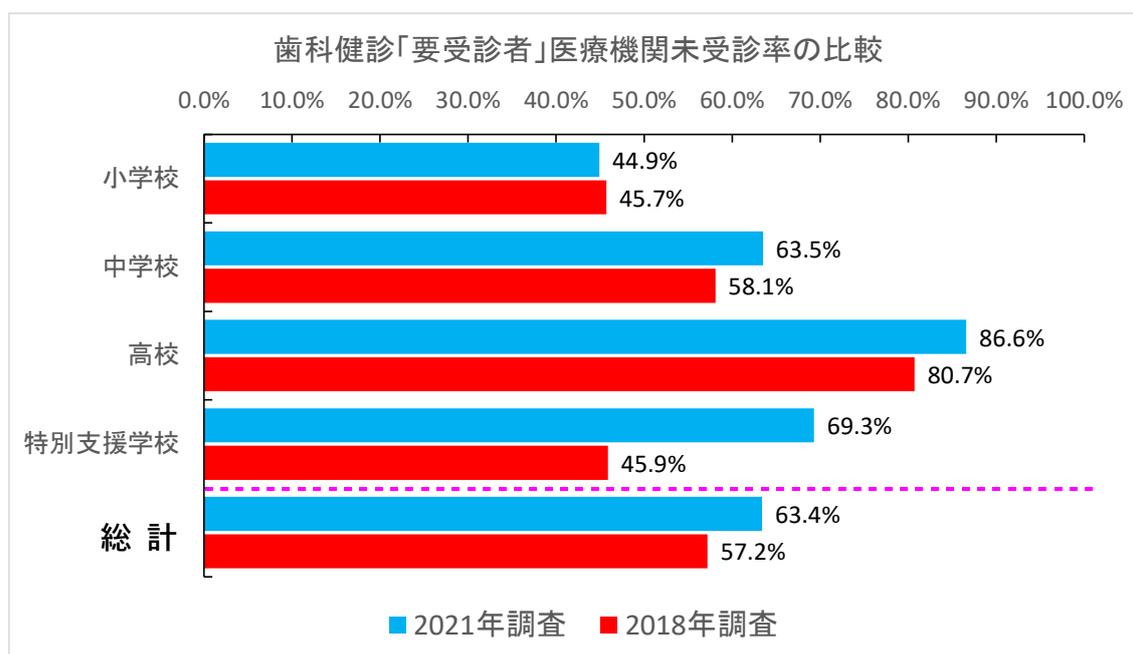
【回答数】 181校（小学校101校、中学校40校、高校22校、特別支援学校18校）

【回答率】 29.1%

歯科健診

1. 「健診を受けた人数」とその内「要受診と診断された人数」、「要受診と診断され医療機関を受診した人数」

	健診受診数	要受診数	要受診率	受診数	未受診者数	受診率	未受診率
小学校	20,613	6,694	32.5%	3,691	3,003	55.1%	44.9%
中学校	13,423	5,344	39.8%	1,951	3,393	36.5%	63.5%
高校	13,518	5,316	39.3%	713	4,603	13.4%	86.6%
特別支援学校	414	153	37.0%	47	106	30.7%	69.3%
総計	47,968	17,507	36.5%	6,402	11,105	36.6%	63.4%

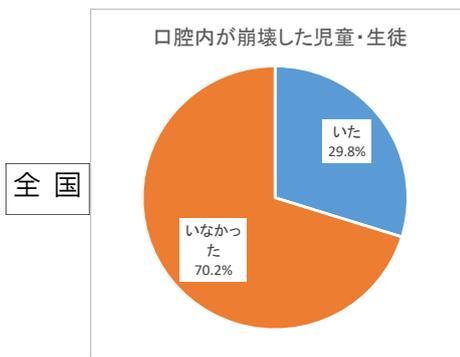
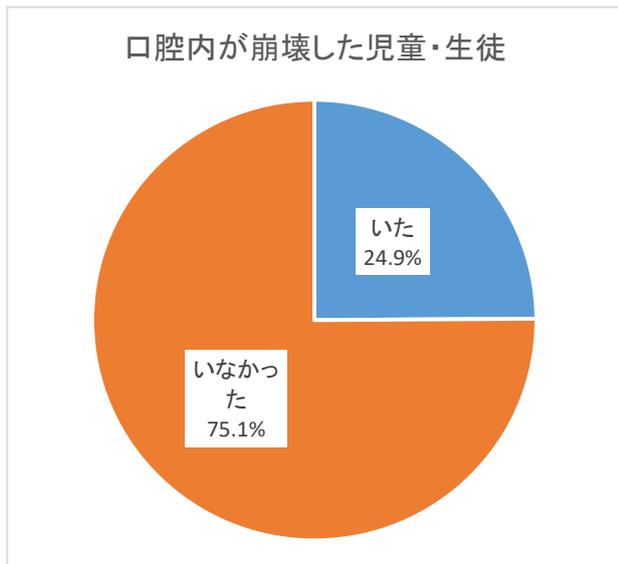


※全国保険医団体連合会調査結果より

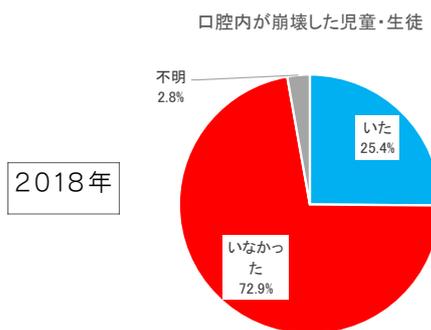
★歯科健診を受けた児童・生徒のうち、36.5%（前回は36.7%）が要受診と診断されたが、そのうち63.4%（前回は57.2%）が「未受診」で、未受診率が前回調査から6.2%増加した。同時期に実施された全国調査とも同じ傾向である。

2. 口腔内が崩壊状態（むし歯（未処置歯）が10本以上ある、歯の根しか残っていないような未処置歯が何本もあるなど、咀嚼が困難な状態）と見られる児童・生徒がいましたか。

	回答 学校数	いた			いなかった	
		学校数	%	人数	学校数	%
小学校	130	33	25.4%	53	97	74.6%
中学校	82	10	12.2%	39	72	87.8%
高校	33	19	57.6%	77	14	42.4%
特別支援学校	12	2	16.7%	3	10	83.3%
総計	257	64	24.9%	172	193	75.1%



※全国保険医団体連合会調査結果より

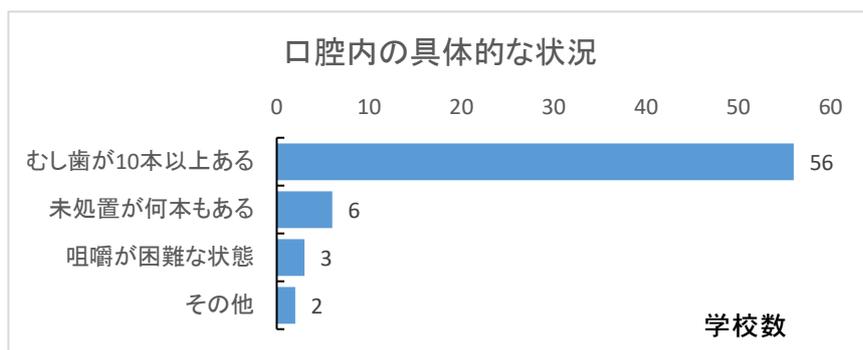


※2018年調査結果より

★口腔崩壊とみられる児童・生徒が「いた」と回答した学校は64校（24.9%）で、前回の25.4%と同程度だった。口腔崩壊とみられる児童・生徒は、0.35%（172人）で、前回の0.30%（102人）とほぼ同様。

※「いた」場合は、下記から選択してください（複数回答可）

	むし歯が10本以上ある	未処置が何本もある	咀嚼が困難な状態	その他
	学校数	学校数	学校数	学校数
小学校	28	5	3	1
中学校	7	0	0	1
高校	19	1	0	0
特別支援学校	2	0	0	0
総計	56	6	3	2



●「その他」の状況

<小学校>

- ・乳歯未処置12本、勧告（受診）しても治療に行っていない。

<中学校>

- ・永久歯のむし歯が9本ある。

□具体的なケース

<小学校>

- ・乳歯未処置12本、勧告（受診）しても治療に行っていない。
- ・毎年5本以上のむし歯が見られる。
- ・障害があるお子さんで口腔内まで手が回らなかったのではないかと思います。
- ・むし歯については、乳歯のむし歯で抜けてしまったので治療には行かなかったという家庭もあるようです。
- ・1名のみ、乳歯のう歯…11本、永久歯のう歯…1本、計12本

<中学校>

- ・C0（むし歯ではないが、むし歯になる可能性が高い歯）を有する歯を10本以上もつ生徒は3人いました。
- ・永久歯のむし歯が9本ある。
- ・歯科校医さんが1人1人にアドバイスをくださり丁寧に見ていただき指導してもらっていますが、保護者の仕事の都合でなかなか治療がすすみません（年3回勧告書を発行しています）。
- ・歯はとてもよい。永久歯の未治療、全校で一人。
- ・母子家庭や経済的に困難な家庭の生徒に見られる。
- ・意識が低い。（健診を受けていない生徒もいます。その生徒は10本以上あると思います。）
- ・う歯の未治療・未受診により痛みを訴える。

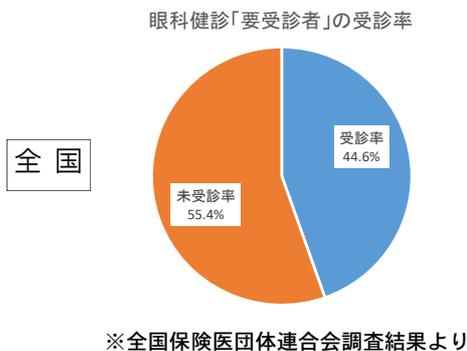
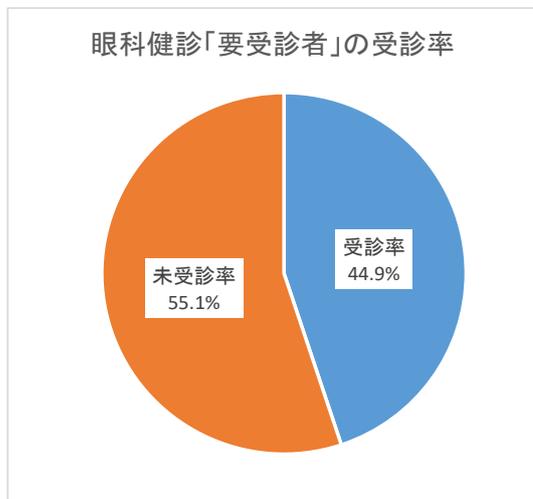
<高校>

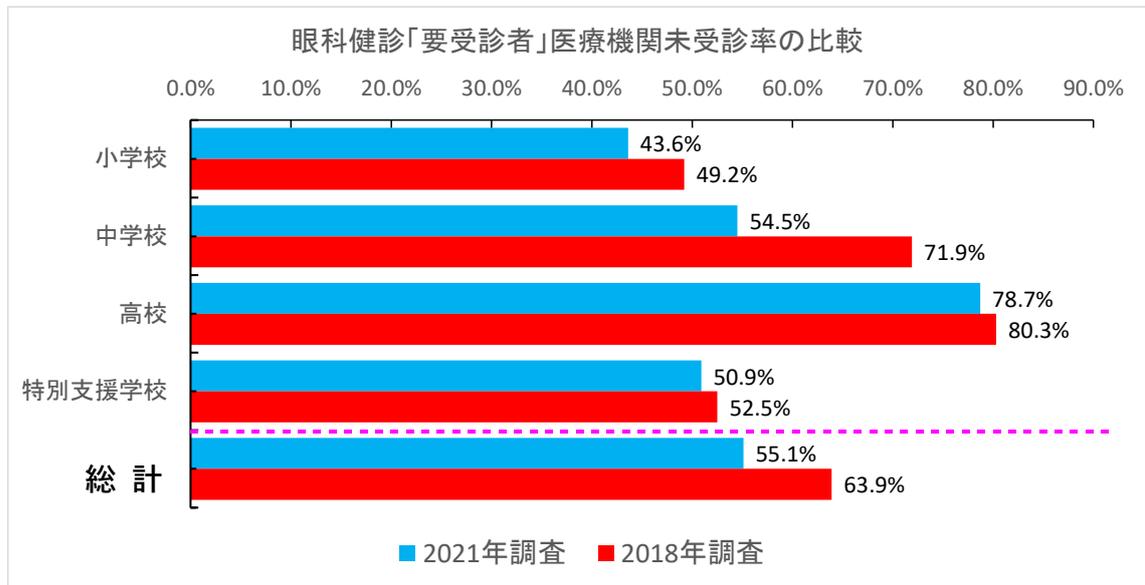
- ・1名治療完了、2名治療中、1名受診していない。

眼科健診・視力検査

1. 「眼科健診を受けた人数」とその内「要受診と診断された人数」、「要受診と診断され医療機関を受診した人数」

	健診受診数	要受診数	要受診率	受診数	未受診者数	受診率	未受診率
小学校	7,167	291	4.1%	164	127	56.4%	43.6%
中学校	4,589	156	3.4%	71	85	45.5%	54.5%
高校	4,939	155	3.1%	33	122	21.3%	78.7%
特別支援学校	429	55	12.8%	27	28	49.1%	50.9%
総計	17,124	657	3.8%	295	362	44.9%	55.1%

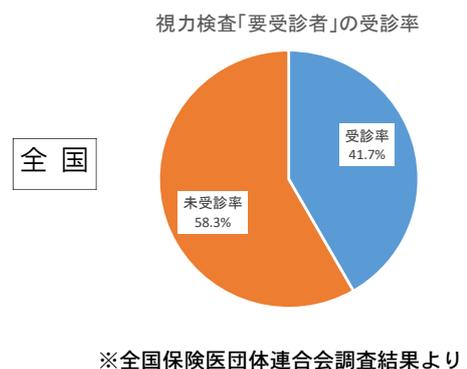
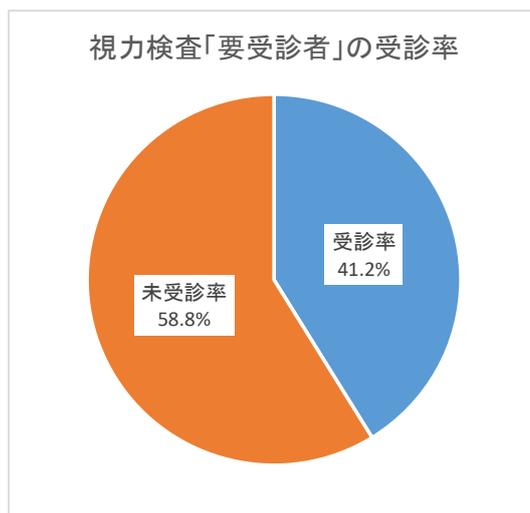




★眼科健診をうけた児童・生徒のうち、要受診と診断されたにもかかわらず、未受診であった児童・生徒は55.1%で、前回調査(63.9%)より8.8%減っている。これは、前回調査は眼科健診に視力検査を含んでいたためである。

2. 「視力検査を受けた人数」とその内「要受診と診断された人数」、「要受診と診断され医療機関を受診した人数」

	検査受診数	要受診数	要受診率	受診数	未受診者数	受診率	未受診率
小学校	20,878	6,199	29.7%	3,419	2,780	55.2%	44.8%
中学校	13,563	5,834	43.0%	2,087	3,747	35.8%	64.2%
高校	12,293	3,457	28.1%	850	2,607	24.6%	75.4%
特別支援学校	412	184	44.7%	94	90	51.1%	48.9%
総計	47,146	15,674	33.2%	6,450	9,224	41.2%	58.8%



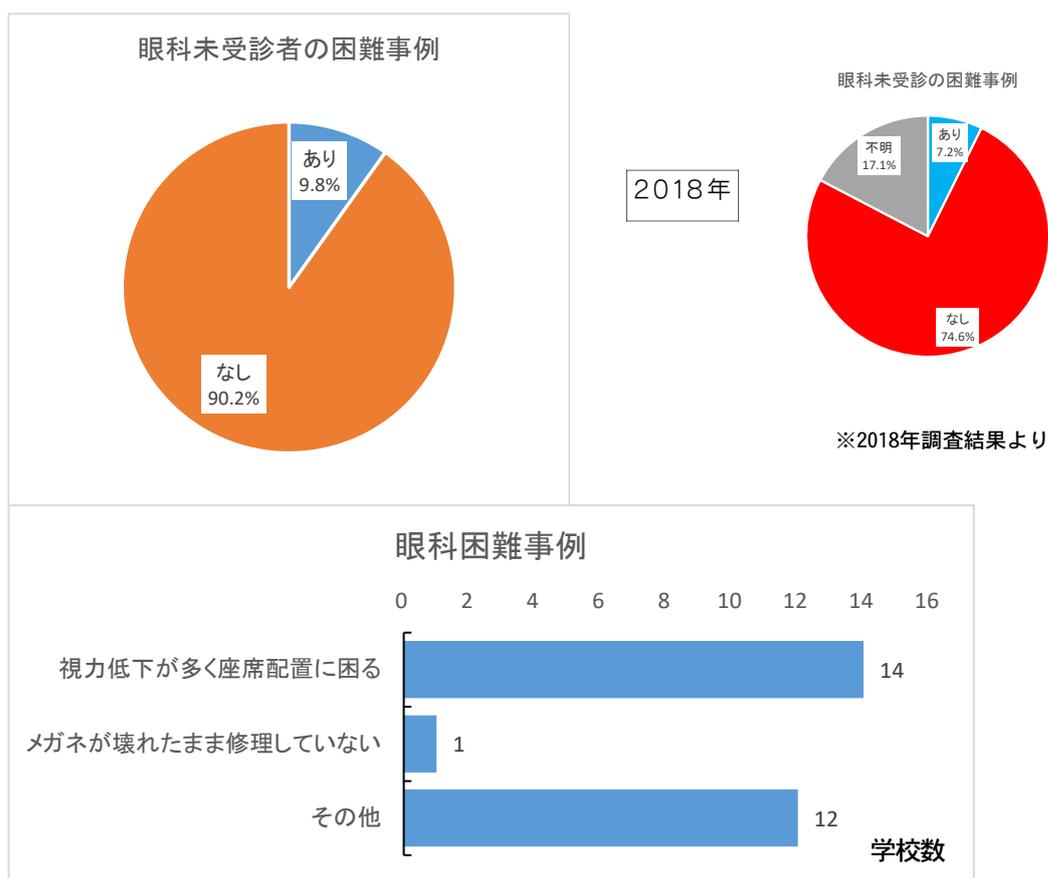
★視力検査をうけた児童・生徒のうち、要受診と診断されたにもかかわらず、未受診であった児童・生徒は58.8%で、全国の調査(58.3%)と同じ傾向である。

3. 要受診と判定されたにも関わらず未受診の児童・生徒の学校での困難事例がありましたか。

	回答 学校数	あり			なし		不明	
		学校数	%	人数	学校数	%	学校数	%
小学校	129	14	10.9%	76	115	89.1%	0	0.0%
中学校	82	10	12.2%	25	72	87.8%	0	0.0%
高校	33	0	0.0%	0	33	100.0%	0	0.0%
特別支援学校	11	1	9.1%	0	10	90.9%	0	0.0%
総計	255	25	9.8%	101	230	90.2%	0	0.0%

※「あり」の場合は、下記から選択してください（複数回答可）

	視力低下が多く 座席配置に困る	メガネが壊れたまま 修理していない	その他
	学校数	学校数	学校数
小学校	9	0	7
中学校	5	1	4
高校	0	0	0
特別支援学校	0	0	1
総計	14	1	12



●眼科困難事例「その他」

<小学校>

- ・未受診の家庭がある。

<中学校>

- ・経済的に困っている家庭が受診できない。
- ・年2回視力検査を実施していますが、毎回結果が同じで行かない家庭が多い。
- ・判定がCで黒板の字も見えづらいうえであるが、呼びかけてもメガネの調整に行かない。

★困難事例があったと回答したのは25校(9.8%)で、前回調査(7.2%)より2.6%増えている。

□具体的なケース

<小学校>

- ・未受診の家庭がある。
- ・視力がC以下であるのに、受診せずにそのままの家庭がある。明らかに左右差（右：A、左：C）があり、本人も見え方の違和感を感じているようだが、受診していない。
- ・お便り、口頭で勧めても受診に至らない。
- ・視力が低下しているが、メガネをかけるのがいやなのか、なかなか病院を受診したがっていない様子。よく目を細めて見る姿を目にする。
- ・数年前から視力が両眼ともD以下に低下している児童がいるが、本人が病院嫌いのため、なかなか病院受診につながらない。座席が一番前でも黒板の字が見えないこともあり、本人も困り感を抱えている。その他の健診時にも検査器具を異常に怖がり、検査に時間がかかることもあった。
- ・複式学級のため教室の前後で学年を分けている。低視力の児童がいる学年が後方の時に席の配置が難しい。
- ・38人在籍の学級で視力低下児童が13人おり、前方の座席に全員が座ることができなかった。
- ・視力B以下を要受診にしているが学習に支障なし。
- ・めがねの度数を交換しないといけないが受診していない。めがね必要と眼科で言われたか購入しないなど。
- ・忙しくて眼科に行く時間がない。

参考) 視力について

- 「A」は視力1.0以上に相当します。
- 「B」は視力0.9～0.7に相当し、学校生活にはほとんど支障のない見え方です。
- 「C」は視力0.6～0.3に相当し、教室での授業に多少の影響が見られるため何らかの対策を必要とします。
- 「D」は視力0.2以下で、教室の最前列でも黒板の字が見えにくいために早急な対策が必要です。

また「A」以外は医学上、正常な視力に相当せず、近視、乱視、遠視、その他の眼の病気が関わっていることもあるので、保護者には「受診勧告のお知らせ」が配られ、子供達ができるだけ眼科を受診できるように配慮されています。

大阪府眼科医会ホームページより抜粋

<中学校>

- ・経済的に困っている家庭が受診できない。
- ・年2回視力検査を実施していますが毎回結果が同じで行かない家庭が多い。
- ・判定がCで黒板の字も見えづらいはずであるが、呼びかけてもメガネの調整に行かない。
- ・矯正視力でAでない生徒、コンタクト（メガネ）を作る際、Bにあわせてあるのに受診させる必要があるのでしょうか？未受診が増えます。
- ・保護者へご連絡するが、視力がかなり低下しているが3年間未受診。
- ・困ることではないが、めがねの生徒が多い。裸眼Aの人、全体の25%。
- ・経済的に厳しく修理ができなかったと思われる。

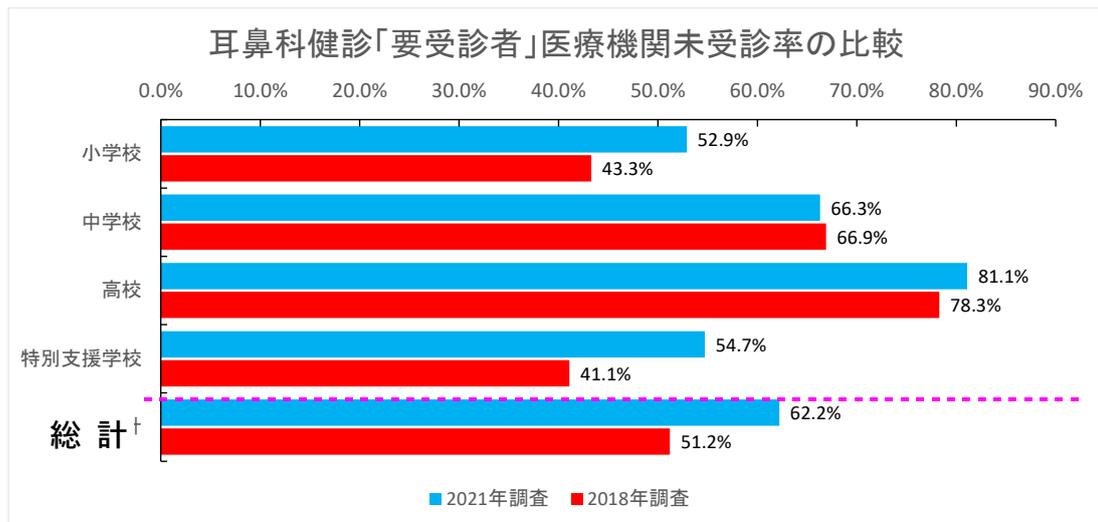
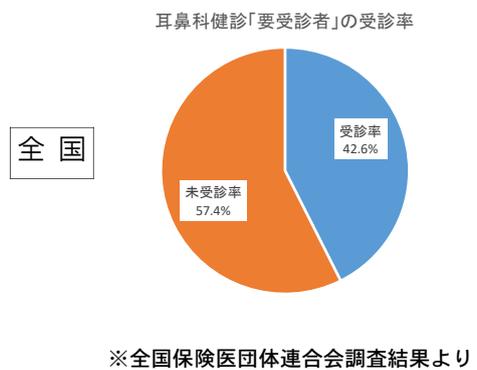
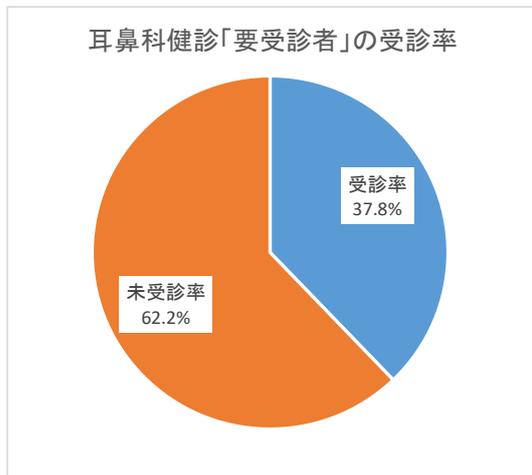
<特別支援学校>

- ・本校は年度途中で転出（前席校に戻る）する児童生徒が多いため受診状況の把握が難しいです。

耳鼻科健診・聴力検査

1. 「耳鼻科健診を受けた人数」とその内「要受診と診断された人数」、「要受診と診断され医療機関を受診した人数」

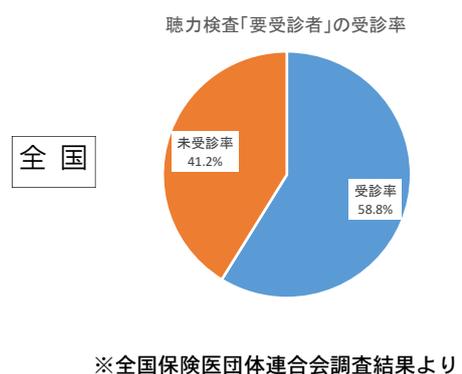
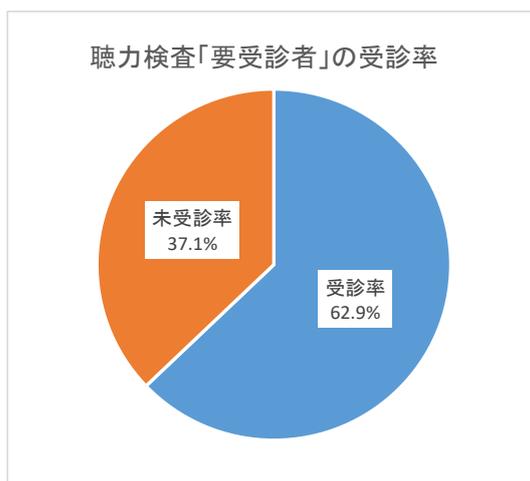
	健診受診数	要受診数	要受診率	受診数	未受診者数	受診率	未受診率
小学校	8,219	1,290	15.7%	608	682	47.1%	52.9%
中学校	4,892	537	11.0%	181	356	33.7%	66.3%
高校	5,117	541	10.6%	102	439	18.9%	81.1%
特別支援学校	425	64	15.1%	29	35	45.3%	54.7%
総計	18,653	2,432	13.0%	920	1,512	37.8%	62.2%



★耳鼻科健診をうけた児童・生徒のうち、要受診と診断されたにもかかわらず、未受診であった児童・生徒は62.2%で、前回調査(51.2%)より11%増えている(前回調査は耳鼻科健診に聴力検査を含んでいた)。

2. 「聴力検査を受けた人数」とその内「要受診と診断された人数」、「要受診と診断され医療機関を受診した人数」

	健診受診数	要受診数	要受診率	受診数	未受診者数	受診率	未受診率
小学校	14,904	230	1.5%	179	51	77.8%	22.2%
中学校	10,652	119	1.1%	64	55	53.8%	46.2%
高校	9,514	98	1.0%	35	63	35.7%	64.3%
特別支援学校	378	8	2.1%	8	0	100.0%	0.0%
総計	35,448	455	1.3%	286	169	62.9%	37.1%



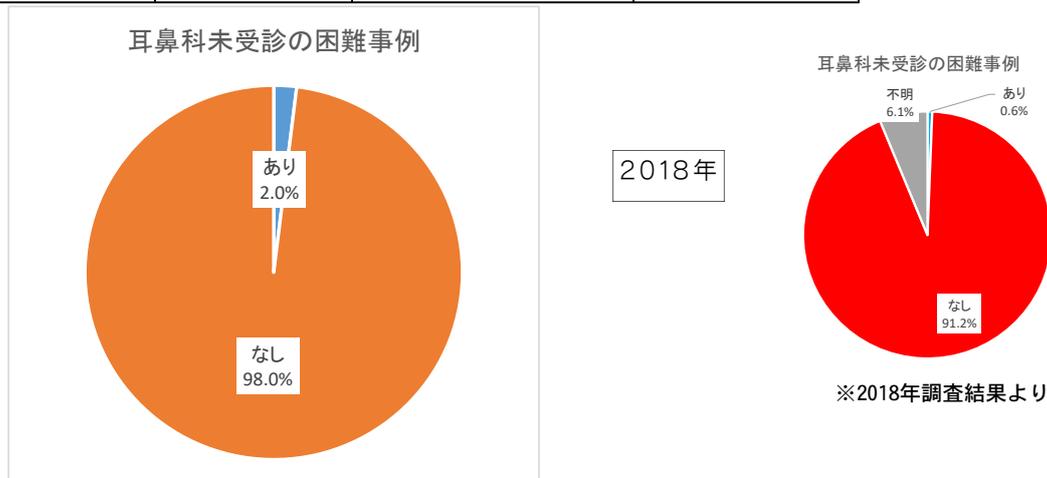
★聴力検査を受けた児童・生徒のうち、要受診と診断されたにもかかわらず、未受診であった児童・生徒は37.1%で、全国の調査(41.2%)より4.1%少ない。

3. 要受診と判定されたにも関わらず未受診の児童・生徒の学校での困難事例がありましたか。

	回答 学校数	あり			なし	
		学校数	%	人数	学校数	%
小学校	130	2	1.5%	1	128	98.5%
中学校	82	2	2.4%	2	80	97.6%
高校	33	0	0.0%	0	33	100.0%
特別支援学校	11	1	9.1%	3	10	90.9%
総計	256	5	2.0%	6	251	98.0%

※「あり」の場合は、下記から選択してください(複数回答可)

	中耳炎を放置 して耳垂れ	聴力低下放置で授業 についていけない	その他
	学校数	学校数	学校数
小学校	0	0	2
中学校	0	0	2
高校	0	0	0
特別支援学校	0	0	1
総計	0	0	5



●耳鼻科困難事例「その他」

<中学校>

- ・困り感がないので受診をしない。

<特別支援学校>

- ・本校は年度途中で転出(前籍校に戻る)する児童生徒が多いため受診状況の把握が難しいです。

★困難事例があったと回答したのは5校(2.0%)で、前回調査(0.6%)より1.4%増えている。

□具体的なケース

<小学校>

- ・耳の痛みを訴えても受診しない。保護者が連れて行かない。

<中学校>

- ・困り感がないので受診をしない。
- ・中1聴力検査、左耳反応なし(2020年4月)。耳鼻科検診で医師による確認(2020年6月)。2017年に受診(左耳完全に聞こえていない)精密検査時に通院がないため、診断名はついていない。今年度も受診なし。

- ・未受診ではないのですが、離島より本土の耳鼻科で補聴器を購入、調整しているため、すぐの対応は難しく、補聴器の医療機器承認待ちのため不自由な期間が長くなってしまった。新しい補聴器は他の音をひろってくれるので集中力が欠けることもある。

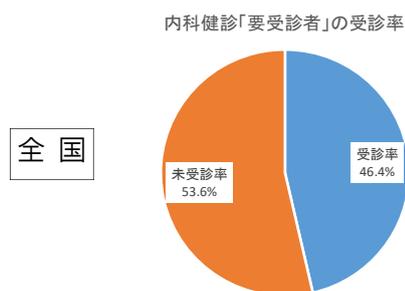
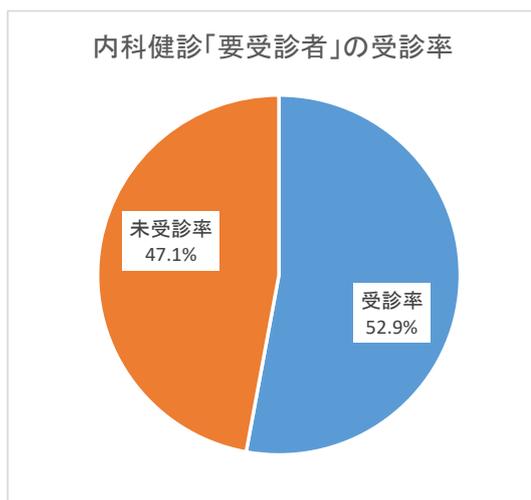
<特別支援学校>

- ・「耳垢栓塞」の診断で、保護者が受診の必要性をそこまで感じていなかったこともあるのかもしれない。

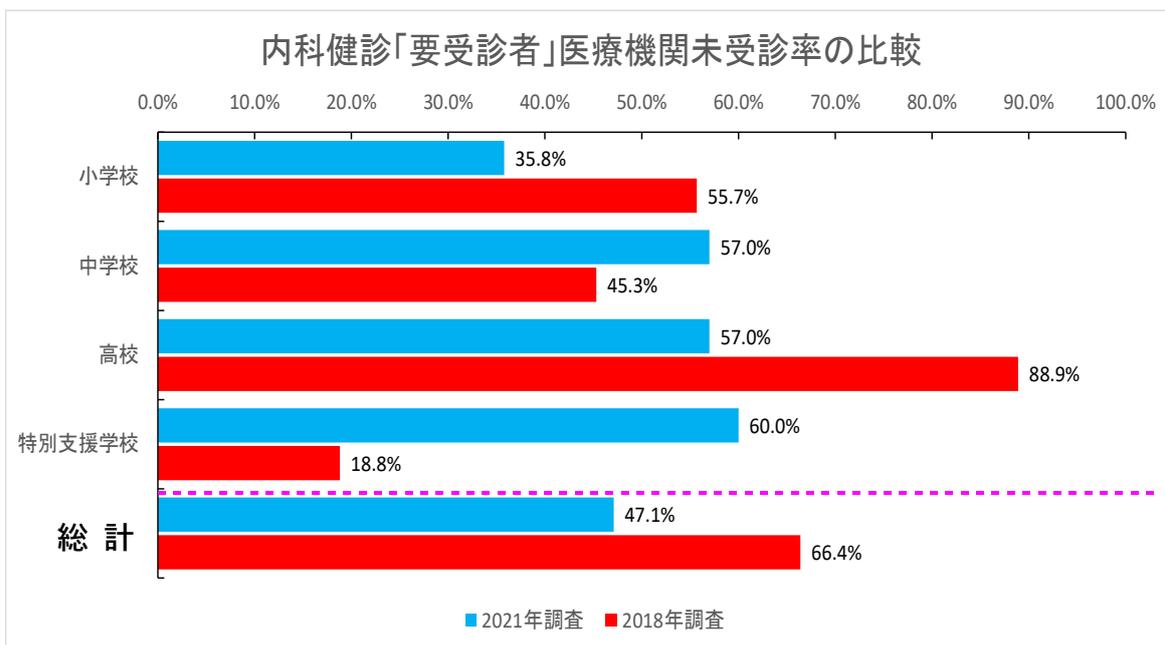
内科健診

1. 「内科健診を受けた人数」とその内「要受診と診断された人数」、「要受診と診断され医療機関を受診した人数」

	健診受診数	要受診数	要受診率	受診者数	未受診者数	受診率	未受診率
小学校	20,650	581	2.8%	373	208	64.2%	35.8%
中学校	13,312	388	2.9%	167	221	43.0%	57.0%
高校	13,525	265	2.0%	114	151	43.0%	57.0%
特別支援学校	441	10	2.3%	4	6	40.0%	60.0%
総計	47,928	1,244	2.6%	658	586	52.9%	47.1%



※全国保険医団体連合会調査結果より



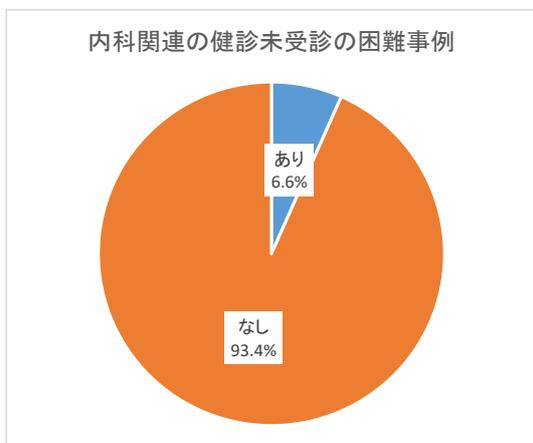
★内科健診を受けた児童・生徒のうち、要受診と診断されたにもかかわらず、未受診であった児童・生徒は47.1%で、前回調査(66.4%)より19.3%減っている。ただし、前回調査は内科健診に四肢の状態を含んでいたため、単純に比較の対象とはならない。

2. 貴校で行なった上記以外の健診・検査(内科・心臓検査・尿検査・皮膚科項目、運動器検診など)で、検査の数値等から明らかに受診が必要にも関わらず未受診の児童・生徒の保健室への相談、困難事例がありましたか。

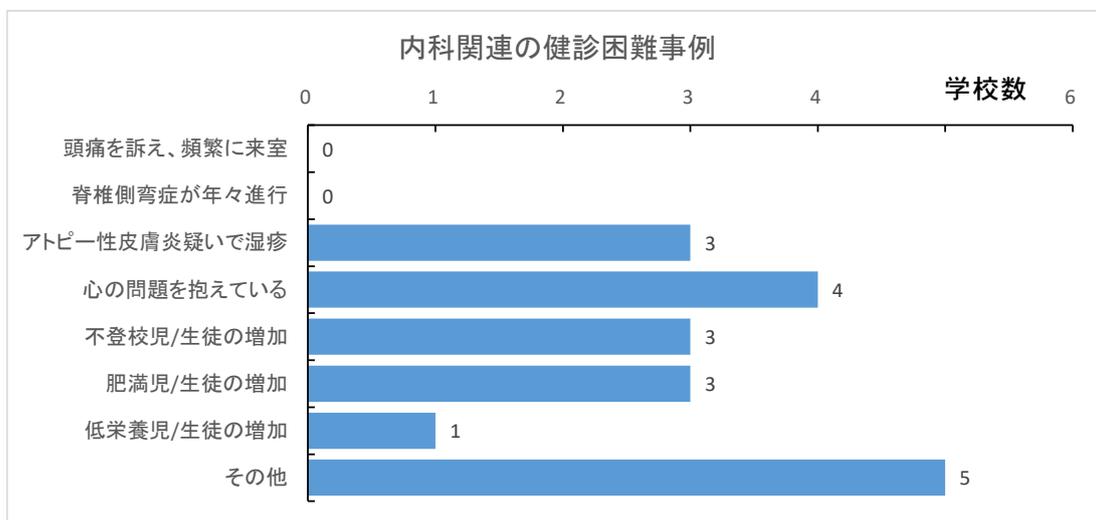
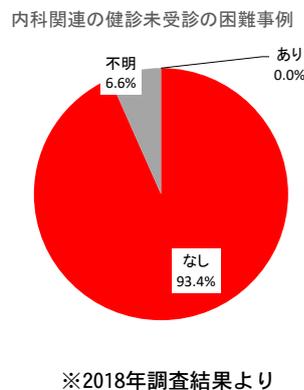
	回答 学校数	あり			なし	
		学校数	%	人数	学校数	%
小学校	130	7	5.4%	12	123	94.6%
中学校	82	9	11.0%	12	73	89.0%
高校	33	1	3.0%	1	32	97.0%
特別支援学校	12	0	0.0%	0	12	100.0%
総計	257	17	6.6%	25	240	93.4%

※「あり」の場合は、下記から選択してください(複数回答可)

	学校数							
	頭痛を訴え、 頻繁に来室	脊椎側弯症 が年々進行	アトピー性皮膚炎 疑いで湿疹	心の問題を 抱えている	不登校児/生 徒の増加	肥満児/生徒 の増加	低栄養児/生 徒の増加	その他
小学校	0	0	1	2	1	1	0	2
中学校	0	0	2	2	1	2	1	2
高校	0	0	0	0	1	0	0	1
特別支援 学校	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	0	0	3	4	3	3	1	5



2018年



●内科関連の困難事例「その他」

<中学校>

- ・困り感がないので受診をしない。

<特別支援学校>

- ・本校は年度途中で転出（前籍校に戻る）する児童生徒が多いため受診状況の把握が難しいです。

★前回困難事例は、0%だったが、今回は6.6%に増えている。

□具体的なケース

<小学校>

- ・成長曲線。
- ・高度肥満の受診指示を行っても保護者の放任により受診しない。3年目になるが、これでいいと言っている（1名）。
- ・相談はないがアトピーがひどく受診を勧めているが全然受診されない。来室したときワセリンを塗布している。

<中学校>

- ・成長曲線のデータで要受診なのに受診しない。
- ・心の問題、不登校は多いが検査とは関係なしです。
- ・休校期間中に無理なダイエットで体重を落とした女子生徒がいた。
- ・親の世代になかった健康診断の項目であるせいか「どうしたら良いのかわからない」という理由で受診しないようです。低身長と肥満。肥満については、個別に毎月の体重測定を行ったり運動を促すように指導しています。
- ・アレルギー性鼻炎で日々症状（鼻汁）が出て気にしているようだが受診に至っていない。
- ・離島より福岡の皮膚科受診、処方薬との相性がよく改善されてきたが通院できなくなり症状悪化。
- ・別日を設定し、なんとか実施できた。尿検査が難しい。

<高校>

- ・心臓検診で要受診となったが金銭面でなかなか受診してもらえず、公的援助等の紹介についての学校スクールソーシャルワーカーの介入も渋られ、生徒の授業や行事などの活動を制限せざるを得なかった。受診後は管理不要の診断がおり活動制限はなくなった。

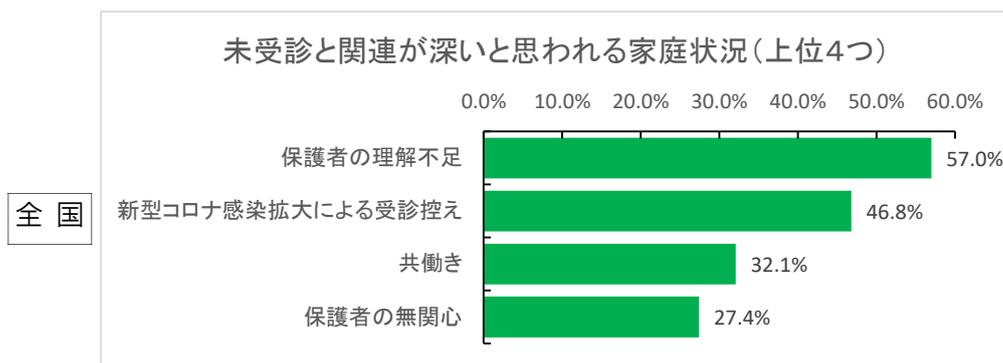
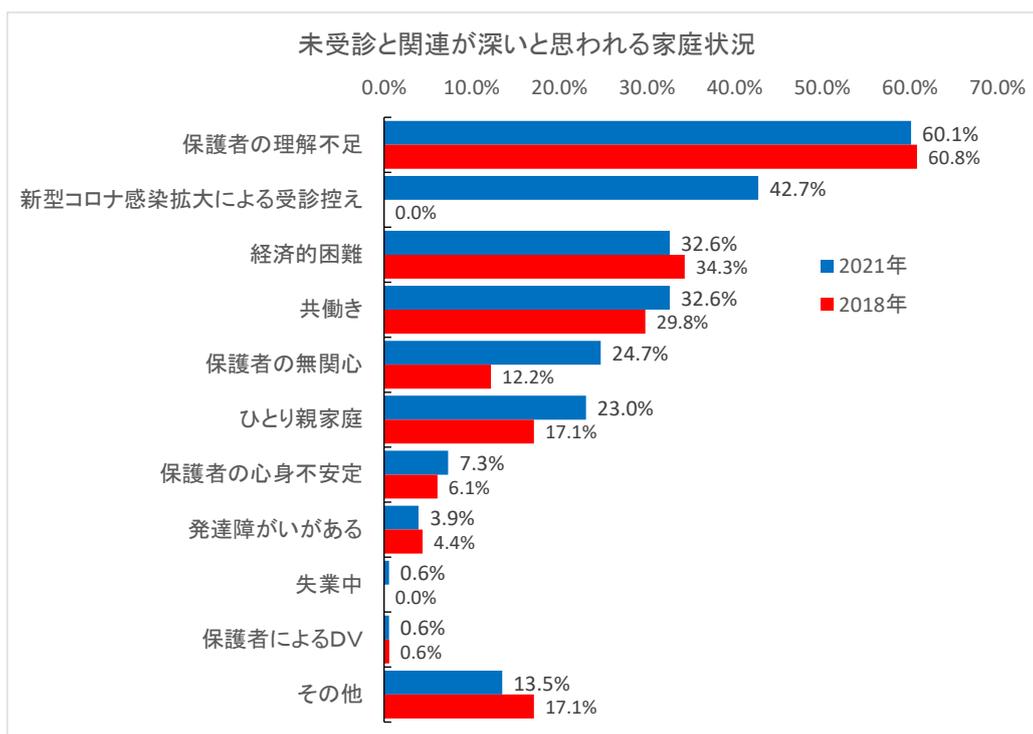
<特別支援学校>

- ・校医からの受診指示はなかったが、季節により症状が悪化する生徒に対し、担任・養護教諭より受診を勧めるが、本人の受診しぶりや保護者が多忙とのことで、なかなか受診できない生徒がいる。

未受診の要因

○未受診の要因として関連が深いと思われる家庭状況（3つまで選択）

	小学校		中学校		高校		特別支援学校		全体	
	学校数	%	学校数	%	学校数	%	学校数	%	学校数	%
経済的困難	28	31.5%	16	27.6%	12	50.0%	2	28.6%	58	32.6%
ひとり親家庭	21	23.6%	14	24.1%	5	20.8%	1	14.3%	41	23.0%
共働き	38	42.7%	16	27.6%	2	8.3%	2	28.6%	58	32.6%
失業中	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%
保護者によるDV	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%
保護者の無関心	20	22.5%	16	27.6%	6	25.0%	2	28.6%	44	24.7%
保護者の心身不安定	6	6.7%	5	8.6%	1	4.2%	1	14.3%	13	7.3%
保護者の理解不足	54	60.7%	33	56.9%	16	66.7%	4	57.1%	107	60.1%
発達障がいがある	4	4.5%	1	1.7%	0	0.0%	2	28.6%	7	3.9%
新型コロナ感染拡大による受診控え	36	40.4%	25	43.1%	12	50.0%	3	42.9%	76	42.7%
その他	9	10.1%	10	17.2%	5	20.8%	0	0.0%	24	13.5%



※全国保険医団体連合会調査結果より

●未受診の要因の「その他」

<小学校>

- ・子育てが忙しい（兄弟多い、年子3人など）。
- ・専門医受診は不要。市販の薬（既製品の医薬品）で十分と考えているようだ。しかし児童は、市販の薬は効きめなし。
- ・昨年度は受診されていて、本年度も受診予定ではあるが、2月現在まだ受診されていない（声かけはしているのですが）。
- ・児童本人の歯医者嫌いが強すぎるため。
- ・受診の必要性は理解していると思われるが、仕事等で忙しく、中々受診できていない家庭がある。
- ・児童本人が受診を拒否する。
- ・医療機関に限られる（眼科等）。
- ・離島のため、専門の病院が島内にない。
- ・離島のため、本土の医療機関受診のための時間確保が難しい。

<中学校>

- ・保護者が児童生徒に過保護。
- ・部活動優先・時間ない（塾などへ放課後行く）。
- ・軽症のため様子をみている。
- ・生徒本人の健康への理解不足。
- ・保護者が子どものことよりも仕事が優先になっている。そのために治療が進まないことがある。
- ・不登校。
- ・部活動で忙しい（週2の休みあり）。
- ・島内に医療機関が少ない。眼科や耳鼻科といった専門医がいない。
- ・離島のため、専門の病院が島内にない。
- ・本土の医療機関を受診する大変さ（時間、経済的）。コロナで福岡県内へ行くことができなかった等。

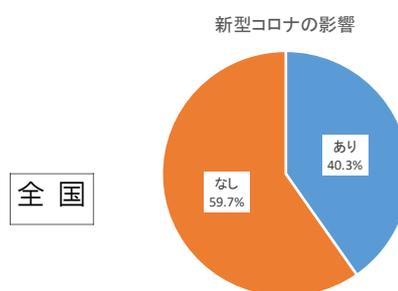
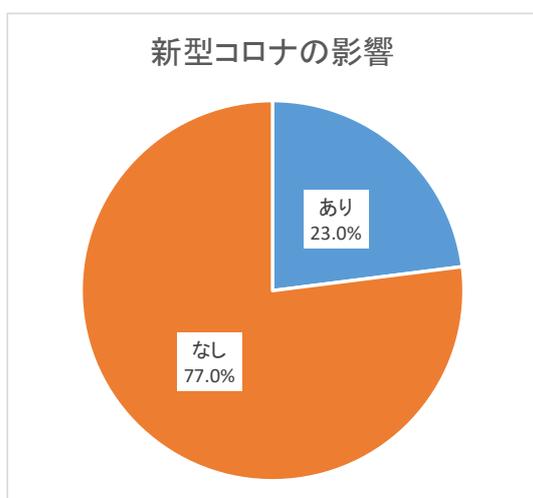
<高校>

- ・生徒が部活動などで忙しいため。
- ・児童生徒が受診しやすい医療機関の情報不足。
- ・受診する時間がない（多忙）。
- ・寮生活をしていると保護者に会う機会が少ないため。
- ・離島環境による島外への外出控え（島内に専門医なし）。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響

○新型コロナウイルス感染症拡大による影響事例がありましたか。

	回答 学校数	あり			なし	
		学校数	%	人数	学校数	%
小学校	128	33	25.8%	81	95	74.2%
中学校	77	17	22.1%	33	60	77.9%
高校	32	6	18.8%	4	26	81.3%
特別支援学校	11	1	9.1%	3	10	90.9%
総計	248	57	23.0%	121	191	77.0%



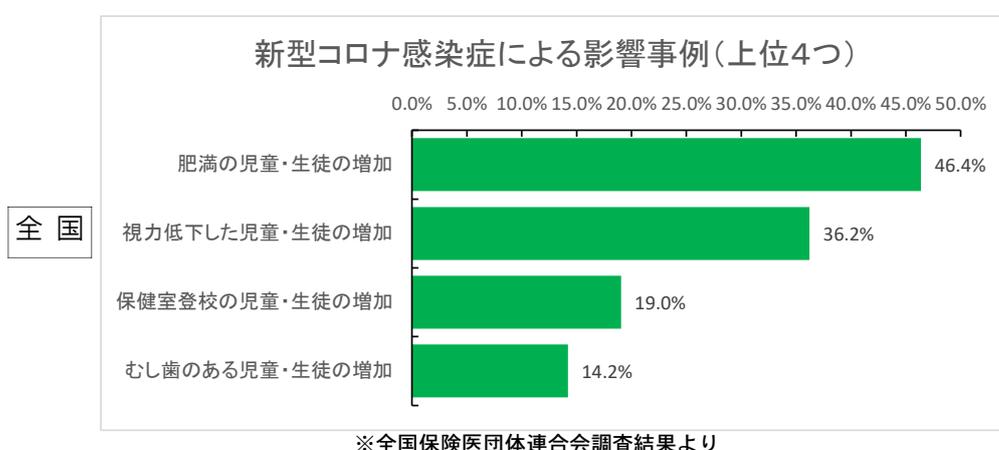
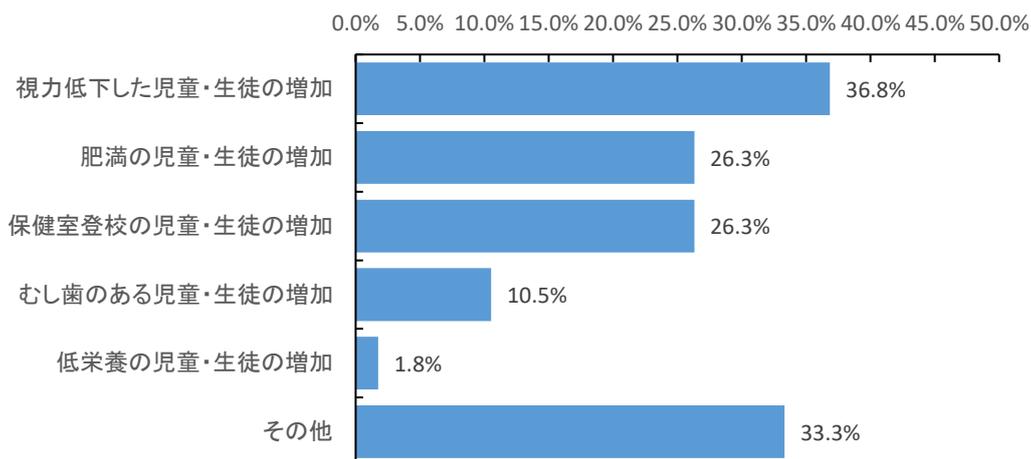
※全国保険医団体連合会調査結果より

★新型コロナによる影響事例の有無については、23%の各学校が「影響があった」としている。全国の40.3%と比べると17.3%少ない。

※「あり」の場合は、下記から選択してください（複数回答可）

	回答 学校数	肥満		低栄養		むし歯		視力低下		保健室登校		その他	
		学校数	%	学校数	%	学校数	%	学校数	%	学校数	%	学校数	%
小学校	33	9	27.3%	0	0.0%	4	12.1%	18	54.5%	5	15.2%	10	30.3%
中学校	17	4	23.5%	0	0.0%	1	5.9%	2	11.8%	6	35.3%	7	41.2%
高校	6	2	33.3%	1	16.7%	1	16.7%	1	16.7%	4	66.7%	1	16.7%
特別支援学校	1	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
総計	57	15	26.3%	1	1.8%	6	10.5%	21	36.8%	15	26.3%	19	33.3%

新型コロナウイルス感染症による影響事例



★影響事例で一番多かったのは、「視力低下した児童・生徒の増加」(36.8%)だったが、全国調査では「肥満の児童・生徒の増加」(46.4%)が一番多かった。

●新型コロナウイルス感染症による影響事例の「その他」

<小学校>

- ・肥満度の急激な上昇。
- ・口腔の状態（歯垢・歯肉）が悪化した児童の増加。
- ・受診控え。
- ・登校しぶり。
- ・必ずしもコロナの影響だけとは限りませんが…。
- ・心臓検診（定期受診）が必要な児童の受診時期が延期。
- ・眼科、先天性白内障定期受診。
- ・ゲーム、スマホの時間が増加。
- ・要病院のケガが増加した。コロナ禍と直接関係あるのかは不明です。

<中学校>

- ・不登校生徒の増加、臨時休校でゲーム増加、点数の低下等。
- ・ゲームやタブレットなどの長時間使用により生活習慣の乱れがみられた。
- ・肩こり・頭痛生徒。
- ・歯科受診率の低下。
- ・定期受診の延期。
- ・不登校、別室登校の増加。
- ・受診に制限がかかったこと。

<高校>

- ・保健室利用生徒の増加。

<特別支援学校>

- ・受診勧告を再三してきたがコロナ感染に不安があるので今は受診を控えたいとの申し出があった。

感想、書ききれない事例

○本調査の感想、書ききれない事例等

<小学校>

- ・コロナの影響で視力低下が33名増加（R元年：143名→R2年：176人）。
- ・受診勧告書をもらっても無関心な保護者の多さに驚いています。学校からの通知・指導だけでは心に響かないようで、これ以上どう対応したら良いのか悩んでいます。この調査が十分に生かされ、子どもの健康に関心をもつ保護者が少しでも増えるような影響があることを期待したいです。コロナの影響で心の問題が表面化して登校しぶりや不登校など苦しい思いをしている子ども（保護者も）が増えたと感じています。小学生の心療内科受診は受け入れ先が少ない（実際に様々な医療機関にTELした保護者によると）、学校でのスクールカウンセラー活用は回数に限りがあり助かってはいるが十分ではない、というのが本校の現状です。心の問題は長期化しがちなので、こういった面の環境改善ができないか…と思います。
- ・調査の依頼は県医師会の各県・市の教育委員会を通して頂けると良いかと思えます（任意の調査として各校に来ると回収率も悪くなり担当者としても戸惑います）。
- ・本校は二次離島であり、島内に眼科はありません。消極的な家庭はそれだけで行うことはしません。歯科は1件ありますが、あっても行きません。治療への優先順位がかなり低いです。
- ・歯科未受診の保護者の考えとして「去年受診したから今年は受診しない」「痛み止め薬で対処できるから受診しない」「今年の受診は姉の番。来年、妹の受診の番。」「自宅から歯医者までの交通手段がない。車の免許なし。バスは通っていない。タクシーでは毎回だと高額になるので通えない。」というのがある。ゆえに、何度も受診をすすめても、ほぼ毎年同じ保護者の子どもが未受診になる。
- ・眼科検診、耳鼻科検診は内科検診とかねる。
- ・内科の先生が眼科・耳鼻科を診られます（未実施にチェックしています）。視力低下については本人の困り感が出てからの受診が少なからずいるように感じます。
- ・校医さんに精神科の医師がほしい（巡回でもいいので）。
- ・問7の肥満の児童・生徒の増加は2月16日現在では改善され、3名となっています。
- ・眼科、耳鼻科健診は専門医健診がありません。
- ・問7の影響については少なからず全員に精神的な影響はあったと思えます。選択肢のようなことはないので、なしと回答しました。出席できない期間が多く、授業にも影響がありました。家から出られず家族けんかが増えたとの話も聞きました。
- ・受診対象にはなっていないが、歯科で歯垢付着が増えた。休校中の生活習慣（はみがき）の乱れも一因と思われる。
- ・眼科検診は内科検診の中に含まれているようです。
- ・内科健診時に眼科、耳鼻科も一緒に診て頂いています。
- ・受診人数などを数えるのが大変でした。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響について断定はできないが、外出、運動する機会（社会体育等含め）が減ったことも影響しているのではないかと考え、7番記入しました。
- ・問7は不明。
- ・歯科検診の要受診と診断された児童・生徒数は虫歯のみあげています。
- ・フッ化物洗口の中止。

参考) 学校歯科健診での用語

C …むし歯
CO…むし歯になりそうな歯
G …歯ぐきのひどい炎症
GO…歯ぐきの軽い炎症
ZS…歯石沈着

<中学校>

- ・歯科検診の精密検査も受診を控えていて、冬になりまた行けなくなったとの声はありました（体調不良時も受診を控えて家で様子を見ますとの声も多々ありました）。
- ・次回具体的に示していただけるとありがたいです。（質問1）歯科検診の要受診と診断された生徒数については、今回指示がなかったため、歯列、咬合、顎関節についての2段階、C、CO、G、GO、ZS、その他の所見で受診が必要と認められた生徒についてすべて数をあげています（受診をすすめるため）。不都合があればご指導下さい。
- ・問7の新型コロナウイルス感染症拡大による影響事例は具体的に人数はありませんが、昨年と比べるとむし歯の増加が見られました。
- ・本校は二次離島であり、島内に眼科はありません。消極的な家庭はそれだけで行うことはしません。歯科は1

件ありますが、あっても行きません。治療への優先順位がかなり低いです。

- ・歯科受診についてはコロナ禍の影響で控えていると感じる。
- ・毎年不登校生徒がいるので保護者へ健診の依頼をするが行っていただけない家庭も少数ですがいます。何度もすすめますが病院へ行きたがりません。
- ・歯科検診は全家庭にお知らせしているが、要受診の生徒は進んで受診しようとしないう。経過観察である生徒の方が家庭の理解もあり、定期的に受診する。一番は家庭、保護者の働きかけや関わりが大きいかで差が出ると思います。
- ・自宅にいる時間が長くなっているからか、ネットやスマホに触れる機会が増えているようです(動画視聴など)。
- ・問7は不明。
- ・使い捨てコンタクトレンズを眼科で定期購入しているが、学校で視力検査をするとCやBになる。病院でも度数を変えられることはない。また、矯正視力でBの場合は受診の必要はないのでは？。受診しても一緒なので受診されない家庭が多い。医療券について、現在、むし歯のみの適用だが要注意乳歯やCOも対象にしてほしい。COと診断されてもCの場合もあるし、医療券が使えないと受診されない家庭もある。
- ・問7でなしとしていますが、複合的にかさなりあつての児相へ相談、保護したケースが3例ありました。
- ・(明確な理由かどうかは分かりませんが…) 密を避けるため一時期、通常使用している教室より広い教室へ移動しました。その直後から、頭痛、腹痛、嘔気等の不定愁訴での保健室来室が急激に増えました。教室環境が原因なのか、ストレスが原因なのか、色々と重なっているのか…、はっきり分かりませんが確実に生徒への心身の影響はあるなと思いました。早く通常の学校生活が戻ってくることを願っています。
- ・歯科検診は要受診と診断された児童・生徒数107人のうち、う歯31人、医療機関を受診した児童・生徒数46人のうち、う歯治療20人。
- ・今年度をもって閉校予定です。1、2年生が不在ですので専門医検診(耳鼻科、眼科)は実施しておりません。
- ・事例ではありませんが、昨年度と比べた時に歯科受診率が低下しており、新型コロナウイルス感染症の影響も原因の1つかなと予想される。
- ・問6のその他に追記、生徒の自立ができていないために、自分で受診するという意識が低いという面がある。＝親の意識の影響が大きいと考えられる。生きる力、たくましい精神を育成するための取組が必要と感じている。
- ・視力調査、5人レンズ交換。
- ・来室者対応で多忙になり、要受診と診断された生徒数までは集計は比較的容易ですが、受診生徒数までは集計に時間を要します。耳鼻科健診は1年のみ、内科検診は4月1年、5月2年、6月3年です。
- ・医療機関を受診した生徒数は治療報告書の提出があった数であり、未提出で受診済の生徒もいると考えられるため、正確な人数は分かりません。すみません。なお、今年度はコロナ感染を気にして受診をためらう事例もありました。

参考) 医療券とは

学校保健安全法に基づく児童生徒医療費助成制度で、経済的理由によって医療費を支出することが困難な要保護、準要保護世帯の児童・生徒が、感染性又は学習に支障を生ずるおそれのある疾病にかかり、学校において治療の指示を受けた場合に、その治療に要する費用を補助し、早期に治療を行わせることを目的としている。生活保護法に基づく医療扶助に優先する。

対象者は、①生活保護法第6条第2項に規定する要保護者、②当該地方公共団体の教育委員会が生活保護法第6条第2項に規定する要保護者に準ずる程度に困窮していると認める者(準要保護者)

対象疾患は、(1)トラコーマ及び結膜炎、(2)白癬、疥癬、膿痂疹、(3)中耳炎、(4)慢性副鼻腔炎及びアデノイド、(5)う歯、(6)寄生虫病(虫卵保有を含む)

「公費負担医療等の手引」(全国保険医団体連合会発行)より

<高校>

- ・歯科検診の要受診者については、う歯、G、咬口、顎関節、ZS等ののべの要受診者数です。
- ・歯科：経過観察と診断された生徒は良く受診していますが、むし歯など本当に受診が必要な生徒に限って受診していない。受診した数ですが、報告されていないだけで、もう少し受診数はいると思います。
- ・冬休みの健康調査において、未受診の理由に新型コロナウイルスへの心配が思ったより多く挙げられていた印象がありました。歯科での感染リスクが一時期心配されており、その以前のイメージが抜けていないような気がします。子どもへの正しい情報提供が私たち大人に必要なだと改めて感じています。
- ・問7で新型コロナウイルスによる影響と判断できるわけではないので、人数としてあげるのは難しいのですが、今年度は別室登校や進路変更が例年より多かったと思います。

<特別支援学校>

- ・本校の児童生徒の実態から、視力、聴力検査は、観察法による結果が多数になります。はっきりした基準の判定ではない為、要受診の判断が難しい面があります。今年度、現状の把握ということで、今回、要検査、受診が必要な者(要受診)が0人になっています。前年度と比べて明らかに悪くなっている傾向があれば、担任と日頃の様子を確認しながら、病院への相談受診を推奨しようと思います。
- ・歯科受診について。障害がある生徒が受診しやすい歯科医院が無いこと、幼いときから受診しないまま過ごしていることによる口腔環境の悪化が課題と感じている。

学校健診後治療調査票

記入日 年 月 日

長崎県()市・()郡 ()町

校種：国立小学校 公立小学校 私立小学校 国立中学校 公立中学校
私立中学校 国立高校 公立高校 私立高校 特別支援学校

1. 2020年度に貴校で行なった健診で「健診・検査を受けた児童・生徒数」とその内「受診が必要と診断された児童・生徒数」、「要受診と診断され医療機関を受診した児童・生徒数」を教えてください。

	健診 実施月	未実施は☑ してください	検査・健診を受けた 児童・生徒数	要受診と診断された 児童・生徒数	医療機関を受診した 児童・生徒数
歯科健診	月		人	人	人
眼科健診	月		人	人	人
視力検査	月		人	人	人
耳鼻科健診	月		人	人	人
聴力検査	月		人	人	人
内科健診	月		人	人	人

※健診実施月が複数月にわたる場合、その旨記載ください。定時制・通信制・分校室での結果についてもご記入ください。

2. 2020年度の学校歯科健診で、口腔内が崩壊状態（むし歯（未処置歯）が10本以上ある、歯の根しか残っていないような未処置歯が何本もあるなど、咀嚼が困難な状態）と見られる児童・生徒がいましたか。いた場合は、人数もご記入ください。

いた()人 いなかった

※「いた」場合は、下記から選択してください（複数回答可）。それ以外のケースがある場合は具体的にお書きください。不明な場合は、無記入で構いません。

むし歯が10本以上ある 歯の根しか残っていないような未処置歯が何本もある

咀嚼が困難な状態 その他()

具体的にご記入ください。

(裏面もご活用ください)

3. 2020年度の貴校の眼科健診・視力検査で、要受診と判定されたにも関わらず未受診の児童・生徒の学校での困難事例がありましたか。ありの場合、人数もご記入ください。

あり()人 なし

※「あり」の場合は、下記から選択してください（複数回答可）。それ以外のケースがある場合は具体的にお書きください。不明な場合は、無記入で構いません。

視力低下の児童・生徒が多くて座席配慮に困る メガネが壊れたままなのに修理していない

その他()

具体的にご記入ください。

(裏面もご活用ください)

4. 2020年度の貴校の耳鼻科健診・聴力検査で、要受診と判定されたにも関わらず未受診の児童・生徒の学校での困難事例がありましたか。ありの場合、人数もご記入ください。

あり()人 なし

※「あり」の場合は、下記から選択してください（複数回答可）。それ以外のケースがある場合は具体的にお書き

きください。不明な場合は、無記入で構いません。

- 中耳炎を放置して耳垂れがひどい 聴力低下を放置して授業についていけなくなった
その他 ()

具体的にご記入ください。

(裏面もご活用ください)

5. 2020年度の貴校で行なった上記以外の健診・検査(内科・心臓検査・尿検査・皮膚科項目、運動器検査など)で、検査の数値等から明らかに受診が必要にも関わらず未受診の児童・生徒の保健室への相談、困難事例がありましたか。ありの場合、人数もご記入ください。

- あり ()人 なし

※「あり」の場合は、下記から選択してください(複数回答可)。それ以外のケースがある場合は具体的にお書きください。不明な場合は、無記入で構いません。

- 頭痛を訴え頻繁に来室する 脊柱側彎症が年々進行しているのに受診勧告に応じない
アトピー性皮膚炎の疑いで湿疹が出ているが、受診せず本人はかゆみを我慢している
心の問題を抱えている 不登校の児童・生徒の増加 肥満の児童・生徒の増加
低栄養の児童・生徒の増加 その他 ()

具体的にご記入ください。

(裏面もご活用ください)

6. 上記設問の中で児童・生徒の未受診の要因として関連が深いと思われる家庭状況をお答えください。(下記より3つまで選択してください。)

- 経済的困難(低所得・生活保護など) ひとり親家庭 共働き 失業中
保護者によるDV 保護者が児童・生徒に無関心 保護者の心身が不安定
保護者の児童・生徒の健康への理解不足 発達障がいがある児童・生徒 外国人(保護者)
新型コロナウイルス感染症拡大による受診控え
その他 ()

7. 新型コロナウイルス感染症拡大による影響事例がありましたか。

ありの場合、人数もご記入ください。

- あり ()人 なし

※「あり」の場合は、下記から選択してください(複数回答可)。それ以外のケースがある場合は具体的にお書きください。不明な場合は、無記入で構いません。

- 肥満の児童・生徒の増加 低栄養の児童・生徒の増加 むし歯のある児童・生徒の増加
視力低下した児童・生徒の増加 保健室登校の児童・生徒の増加 その他 ()

8. よろしければ、ご連絡先をご記入ください。(学校名等は公表いたしません)

住所・学校名・ご担当者名:

※その他、本調査の感想、書ききれない事例等がありましたら具体的にご記入ください。

具体的にご記入ください。

(裏面もご活用ください)

長崎県保険医協会

〒850-0056

長崎市恵美須町2-3 富国生命ビル2F

TEL 095-825-3829

FAX 095-825-3893